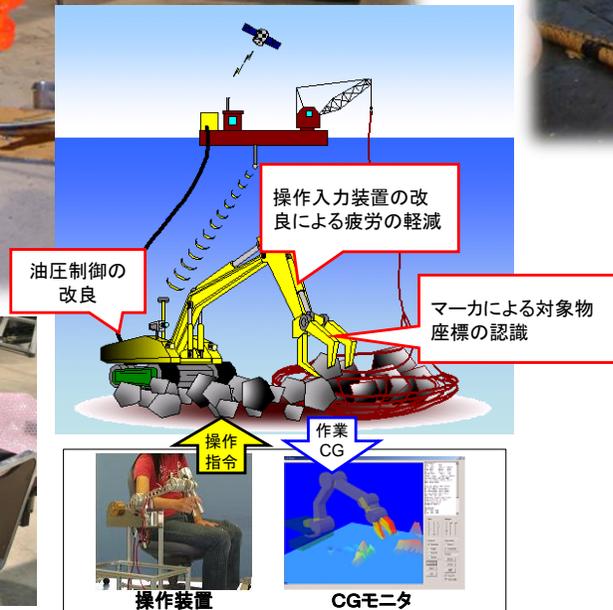
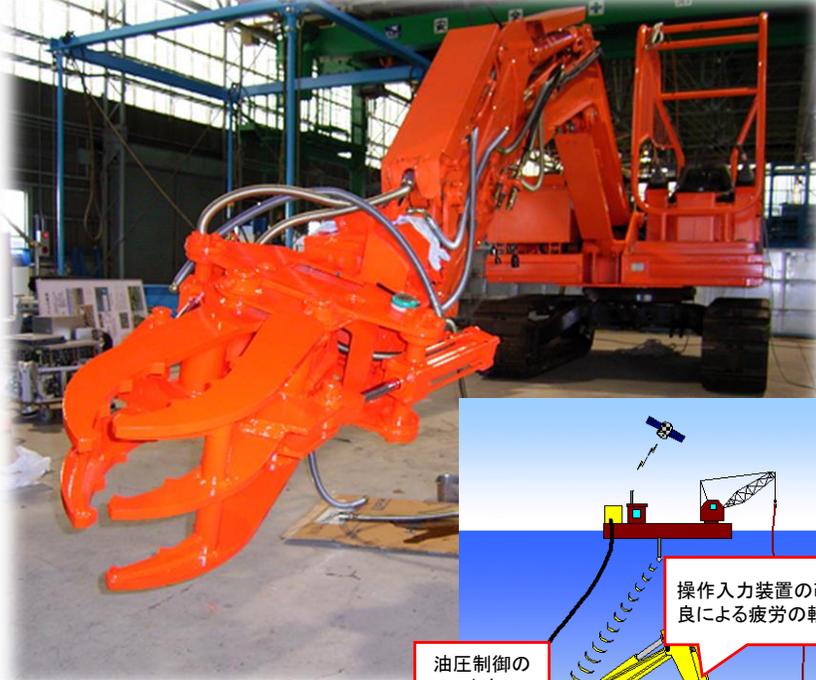


# 遠隔操縦型 水中バックホウ

陸上で使用されているバックホウの汎用機を水中仕様に改造を施し、港湾工事などの作業に従事している施工機械です。動力源をエンジンから電動モータに変更することにより水中での運転を可能にしています。陸上機同様の多種多様なアタッチメントを使用することにより、様々な作業の機械化を実現しています。



ジョイスティック遠隔操作装置



遠隔操縦装置による作業状況

水中バックホウ技術開発概要図

# 水中バックホウによる水中作業



水中バックホウによる捨て石均し状況

捨て石均し比較表

比較項目	水中バックホウによる施工	人力による施工
自然条件		
波浪	支援母船の作業限界からH1/3=1.0m程度 →稼働率の向上	潜水士船が小型であるため、作業限界はH1/3=0.5m程度
潮流	潜水オペレータの操作上の限界が2.0ノット程度 →作業時間効率の向上	捨て石均しの作業限界は、一般的に1.0ノット程度
透視度	潜水士による目視作業となるため、3.0m以上が望ましい	作業内容によっては手探りでも可能であるが、安全上問題がある
施工水深	潜水士の作業限界に左右されるため、30m程度	潜水士の作業限界に左右されるため、30m程度
荒均し		



水中バックホウによる障害物撤去状況